



## 「何とかして、キリストの復活に達したい」

～キリストの中にしっかりと根を張る信仰の必要性～

「私は、キリストとその復活の力を知り、その苦しみにあずかって、その死の姿にあやかりながら、何とかして死者の復活に達したいのです。/キリストは、万物を支配下に置くことさえできる力にあって、私たちの卑しい体を、ご自身の栄光の体と同じ形に変えてくださるのです。」

フィリピの信徒への手紙3章10・11、21節

仏教の世界では、「輪廻転生」という考え方があります。すべての生命は繰り返しながら、永遠に続いていくという内容です。

しかし、聖書はすべてのものには始まりがあり、終わりがあると語っています。もし、輪廻思想が真実なものであるなら、どこに私たちの人生の意味があるのでしょうか？私たちは誰かの人生を生きているのでしょうか？

聖書の教える復活の信仰は、輪廻とは異なります。また、人生が繰り返すのではなく、別の次元に引き上げられる。やがて、この世界は終わり、栄光の姿に私たちは変えられるということです。だからこそ、今の人生がとても重要であるということです。キリストの死と復活に私たちも預かって、神のものとされて、天国に導かれるということが本日のフィリピ書3章に記されています。

私たちの信仰は、主を信じる事によって救われますが、継続して、主に従い、最終的に、復活＝栄光の体に変えられます。キリストを信じた時＝点だけではなく、線となる信仰。パウロのように「キリストによって捕らえられ続ける(12節)」ことが大切です。

神の言葉を受け止めて、時間をかけて根を張り、主を見上げて、日々成長させていただくことが大切です。キリストの内にしっかりと根を張って、従い続けることなしに、私たちの信仰の成長はあり

ません。嵐の中でも苦しみの中でも共に主に従い続けましょう！